

一関市議会 広聴広報委員会 記録

会議年月日	令和7年11月4日(火)			
会議時間	開会	午前9時58分	閉会	午後0時24分
場所	第2委員会室			
出席委員	委員長 猪股 晃		副委員長 菅原 行奈	
	委員 佐藤 真由美		委員 石黒 一広	
	委員 千葉 誠		委員 皆川 千秋	
	委員 千葉 ちあき		委員 佐藤 進治	
	委員 森 英隆			
遅刻	遅刻 なし			
早退	早退 なし			
欠席委員	欠席 なし			
事務局職員	調査係長 千葉 功一			
本日の会議に付した事件	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより第83号の校正について ・議会だより特集記事等の年間計画について ・市民と議員の懇談会について 			
議事の経過	別紙のとおり			

広聴広報委員会記録

令和7年11月4日

(開会 午前9時58分)

委員長 : ただいまの出席委員は9名です。

全員の出席ですので、これより本日の委員会を開会します。

録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。

これより議事に入ります。

(1)議会だより第83号の校正についてを議題といたします。

議会だよりの校正は、これまで初校と最終校の2回行っておりましたが、第83号につきましては、改選後に新たな委員となってから発行日までの期間が短いため、校正に係る協議は、本日1回だけとなります。

皆様には、修正漏れなどがないよう、内容の御確認をお願いいたします。

初めに、本日の進め方についてお諮りします。

この後、会議を暫時休憩し、編集事業者から原稿について説明いただき、自由討議の形で内容の確認を行いたいと思います。

その後、会議を再開し、協議、意見交換を行いたいと思います。

さよう進めることに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう取り進めます。

それでは、この後、暫時休憩し、編集事業者から説明を受けた後、自由討議の形で内容の確認をしたいと思います。

暫時休憩します。

(休憩 10:00~11:14)

委員長 : 再開します。

事務局より、編集業者から提出のあった原稿と、それに対する修正箇所などについて、まとめて説明させます。

千葉書記。

書記 : 説明いたします。

2ページ、3ページでございます。

各議員の住所表記については大字までとして地番は除きます。

電話番号は固定電話または携帯電話を表記することといたします。

さらに、2ページ上段の一関市議会の表記を削除し、新しい任期が始まりました、という表記を加え、その下に新たな任期を記載します。

続いて5ページでございます。

選任、任命の教育委員会委員の伊藤一志さんの一の書体だけ太字になっているように見えますので確認いたします。

続いて6ページでございます。

一関市議会議員厚生会の石黒一広議員の漢字に誤りがありましたので修正いたします。

続いて7ページでございます。

議会の配置図につきまして削除します。

議席表につきましては、上下反対にし、傍聴席と市当局の席を加えます。

続いて8ページ、9ページでございます。

一の書体が太く見えるので書体を確認いたします。

続いて10ページでございます。

各委員会からの政策提言書における提言1の提言を外し、1、2、3という提言番号のみとします。

11ページでございます。

単語帳のクマの出没について、8月末現在の数値となっておりますので10月末の数値に修正いたします。

次に12ページでございます。

単語帳2の集落支援員について、猪股委員長より内容の確認について申出がありましたので確認いたします。

次に14ページでございます。

岡田もとみ議員のキャプションの要望内容について確認しまして、コメントの内容をより詳しく改めさせていただきます。

最後に16ページでございます。

右下に広聴広報委員の集合写真を撮影しまして掲載したいと考えております。

確認内容は以上でございます。

委員長：説明が終わりましたので、質疑、意見交換を行います。

編集事業者から提出のあった原稿と、それを受けて事務局から説明のあった修正箇所などについて、質疑、意見のある方は御発言願います。

佐藤真由美委員。

佐藤（真）委員：一の書体について、全体的に太字になっているので、全体的に確認をお願いします。

委員長：事務局で内容を確認します。

そのほかございませんか。

（「なし」の声あり）

委員長：なければ、以上で質疑、意見交換を終わります。

議会だよりいちのせき第83号については、事業者から提出いただいた原稿に、事務局から説明のあったとおり、加除修正を行うことにしたいと思いますが、これに、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう決しました。

なお、修正を反映した原稿の最終確認及び軽微な文言の修正等については、正副委員長に一任願います。

以上で、議会だより第83号の校正についての協議を終わります。

暫時休憩します。

(休憩 11 : 19～11 : 27)

委員長 : 再開します。

次に、(2)議会だより特集記事等の年間計画についてを議題といたします。

事務局より説明させます。

千葉書記。

書記 : 議会だより特集記事等の年間計画について御説明します。

1 番の特集記事についてでございますが、令和6年8月1日号以降の内容を記載してございます。

特集記事として、これまでに市議会議員と語ろうという記事を2ページ、3ページに掲載しておりました。

これまでは、地域おこし協力隊や女性消防団、高看学生、シルバー人材センター、女性起業家、今回は改選期でありますので新たな議員の紹介として特集記事を掲載いたします。

今後でございますけれども、令和8年3月1日号の特集をどのようにするか、これまでどおり市議会議員と語ろうにするか、新たな特集内容にするかも含めて御協議いただければと思います。

これまでの委員会の中で出た案としましては、農業青年団体の4Hクラブや藤の園、一関市国際交流協会、一関青年会議所、一関商工会議所青年部や女性部といった団体の特集記事としてはどうかという意見が出ております。

あくまでも案ということで参考にいただければと思います。

次に2番の裏表紙上段の記事についてでございますが、78、79号では、おしえて議会として、議会の紹介や請願制度について紹介してきたところでございますが、80号以降については、市民の声ということで、日々の暮らしで思うことや、まちづくりへ期待することなど、各号2人の方に寄稿いただいているところでございます。

この内容につきましても、このまま継続するか、新たな内容にするかも踏まえて御協議いただければと思います。

次のページ以降については、74号以降のページ構成と担当委員でございます。

最後のページですが、参考として市民の声や企画など、過去の地域別掲載内容と担当を記載しております。

各号ごとに特集やページごとに担当を割り振らせていただきまして、各担当委員が記事を作成したり、インタビューを行ったりしております。

令和8年3月1日発行の第84号の紙面構成や担当については、次回の委員会で決定したいと思いますので、あくまで参考にしていただければと思います。

説明は以上でございます。

委員長 : 年間計画として、ただいま説明があった内容で進められてきて、今後どうするかという説明がありました。

説明が終わりましたので質疑、意見等を行います。

何か感じていることがあれば伺いますし、特集記事については、案として出てきている部分もありますが、素材としては十分な案でありますけれども、さらに皆さんの今までの経験の中でクローズアップしたいことがあれば、特集として項目を追加したいと思います。

テーマについては次回の委員会で決定することにして、テーマとして皆さんの考えをお願いします。

また、裏表紙については市民の声として現在載せておりますが、同じように進めてよいか、新しい構成内容で進めたほうがよいのか、御意見をいただきたいと思います。

これまでの様々な取組もまとめておりますので、参考にしていただき御意見をよろしくお願いいたします。

森委員。

森委員 : 今後の特集の案を出す前に、案として挙がっている6団体をピックアップされた趣旨を伺えると、今後の案として参考になるかと思います。

委員長 : 千葉書記。

書記 : これまでは、市内で活躍されている団体が多くありますので、その方々を紹介したいということが委員会の中でありました。

過去の内容を見ますと、令和6年8月号では、林業で移住された方々を紹介しましたし、消防団や医療、生涯学習や女性活躍といった分野を特集しております。

それとは違った分野など広く紹介したいということもありましたので、農業青年団体や福祉分野、国際交流協会など、様々なジャンルをピックアップしたところでもあります。

このほかにも、令和6年8月以前には、一関高専の学生で起業した方々を紹介したこともありました。

委員長 : 休憩します。

(休憩 11:35~11:44)

委員長 : 再開します。

議会だよりの特集記事の年間計画について、今後のテ特集として取り上げたいテーマを挙げていただきたいと思います。

森委員。

森委員 : ぜひ特集していただきたい分野として、保育関係の方々をピックアップしていただきたいです。

要望もありまして、保育現場の実情を伝えると、子育て世代の方々の見方や考えが変わるのではないかというお話があったので、教育という意味でも保育という視点から状況を伝えられたらと思い、保育の部分に絞って取材をしていただきたいです。

委員長 : 千葉まゆみ委員。

千葉(ま)委員: 教育と地域を支える立場から、スポーツ少年団の指導者の特集を提案します。

委員長 : 菅原委員

菅原委員: 2017年から一関市内においてレスキュー訓練が行われております。

今年度6月に、市内の高校生がグループで参加したという話を聞いています。

その高校生たちが卒業する前に取材したいという思いがあります。

委員長 : ただいま、保育現場の方やスポーツ少年団の指導者、レスキューに取り組んでいる方々という3つの新たな特集記事について案がありましたが、これらを今後の特集記事の素材として協議していくということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : それでは、新たな案も加えて今後の委員会で絞り込んでいきたいと思えます。

裏表紙の市民の声についてはいかがでしょうか。

森委員。

森委員 : 以前の議会だよりを読んでいたときに、請願制度についての記事がありましたが、議会のことを知るという意味で、ワンポイントで復活していただきたいと思えます。

委員長 : 議会を市民の皆さんに知ってもらおうという意味で、おしえて！議会という特集を復活してはどうかという提案でございますが、年4回発行する中で、一般質問登壇者が多いと特集記事のページを調整しなければいけないとか、登壇者が少ない場合は、特集記事

を追加するなどあり、余裕を持たせた記事の内容にしているところもごございます。

必ず毎回というわけではございませんが、市民の方々に議会を知ってもらうよい機会にもなると思いますので、ぜひ取り上げて、議会の仕組みについて記事にしていくということを進めていきたいということをございます。

市民の声については、従来どおり各地域から1名ずつ男女それぞれに、日頃思っていること、議会に限ったこと以外にも市民の声を上げていくことも必要だと思います。

市民の声については継続していくということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 : ただいま、特集記事や裏表紙の構成について意見交換を行いました。

特集記事につきましては、新たに3つの団体を加えて項目を入れます。

また、議会の紹介として、おしえて！議会など紙面構成を考えながら調整したいと思います。

裏表紙につきましては、これまでどおり上段に市民の声とします。

このような年間計画で進めていくことで御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう決定いたしました。

以上で、議会だより特集記事等の年間計画について協議を終わります。

次に、市民と議員の懇談会についてを議題といたします。

事務局から説明させます。

千葉書記。

千葉書記 : 資料はございませんが、毎年、市民と議員の懇談会を広聴広報委員会が主担当として開催しております。

全議員に場所ごとに担当を割り振って実施いたしますが、企画の部分は広聴広報委員会で協議することとなっております。

今年度は、改選前の委員会において、選挙もあることから実際にやれるかということもあり、新たな委員会で検討することとなりましたので、委員からの御意見をお願いいたします。

なお、昨年度は1月に実施することで事前に公募を行い、3団体と懇談会を開催したところをございます。

さらに令和5年度におきましては、市内の高校生や大学・短大生、青年団体と懇談会を開催したところをございます。

いずれも年度当初にテーマや開催内容を協議しながら開催してきたところであります。

本日の委員会では、今年度の実施についてと今後の進め方について御意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

委員長 : 休憩します。

(休憩 11 : 52～12 : 13)

委員長 : 再開します。

市民と議員の懇談会でございますが、開催の有無につきましては本日決定するのは難しいと感じております。

これまでの開催内容や懇談会の経緯など、サイドブックスのフォルダに入っておりますので、それらをしっかり確認していただきながら、開催の有無や開催する場合の時期、実施する場合の内容なども含めて、次回の委員会を今月中に開催することとして意見交換しながら決定してまいりたいと思いますが御異議ございませんか。

佐藤真由美委員。

佐藤（真）委員：私としましては、やる方向で考えていくと日程も決まってくるのかということもありますし、実施することを前提に考えていかないと進まないと思います。

委員長 : やるかやらないかということもありますが中身の問題かと思えます。

従来の方でやってよいものなのかということも含めて議論した中で、時期的にも1月に開催することができるのかという判断をすべきだと思いますので、11月中に会議を開催し、開催の有無について協議したいと思えます。

御同意いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : それでは11月中に次回の委員会を開催いたしますので、再度この件について意見交換したいと思えますのでよろしくお願いいたします。

以上で、質疑、意見交換を終わります。

次に、次回の委員会の開催日程について、お諮りします。

暫時休憩します。

(休憩 12 : 16～12 : 23)

委員長 : 再開します。

次回の委員会については、11月14日、金曜日に開催することとし、時間について午前か午後で調整し改めて御連絡いたします。

内容については、市民と議員の懇談会、次回の議会だよりの校正について議題といたします。

以上のように進めることに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう決しました。
そのほか委員の皆様から何かございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、これをもちまして本日の委員会を散会します。
御苦労さまでした。

(閉会 午後0時24分)